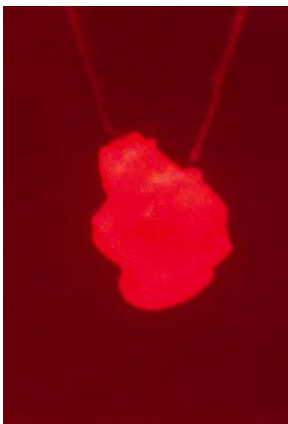


万博に行ってきました。印象的なパビリオンを紹介します。

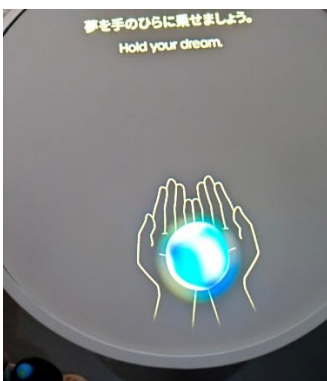
トルコ館：内部に船の一部があり、船名がエルトゥールル号でした。1890年（明治23年）に和歌山県串本で座礁したトルコの軍艦です。食料の蓄えもわずかだったにもかかわらず、米、サツマイモ、それに非常用の鶏すら供出するなど、生存者たちの救護に努めた住民たちの物語を私たちも忘れないようにしたいと思いました。



パソナ館の3cmのミニ心臓、心臓そのものではなく、収縮と拡張を繰り返す心筋細胞のかたまり。心筋症の方にこの心筋細胞を移植する治療の治験が始まっています。



シンガポール館：自分の夢を書いた文字や絵が自分の手のひらから天井に舞い上がります。



スイス館：願い事を唱えて出てきたシャボン玉にタッチする。



オーストリア館：似顔絵を作成してくれます。

